成果の説明書

(氏名) 内山　知一	(学部) 経済学部

1　重要事項

まず教員免許プログラムでは、感染症危機が生じて以降のさまざまな変容にあわせて不可逆に変わりつつある現場の状況に特に注意を払い、現時点で求められる力・スキルも念頭に置き、各種の措置を講じた。たとえば、新入生以降の免許取得までの各段階の習熟度別の留意点にあわせて、種々のオリエンテーション、個別面談、メールでの質問受付、掲示での注意喚起などを担い、スキル面での相談に加え、講義の履修順、段階・所属ごとの履修上の制約、実習の赴任先とのかかわりで守るべき注意事項など幅広く助言できた。このプログラムでは他と異なり、受講者は最終段階で生徒のいる現場に赴き、リアルな場でそれまでに得たスキルなどを生かし、授業など責任ある「仕事」を担わなければならない。特に、最近では、現場の負担軽減にも焦点が当たり、これまで以上に効率も重く見られ、さまざまな事項で以前と異なる取り組みもすすんでいる。また、受講者自身も感じていることだが、現場は種々の制度変更やネット上の各種サービスの急速な普及など、生徒を取りまく環境の変容に深く影響を受けている。これらの転換のなかそこに赴く受講者はあらためて注意深く自らを省み、足りないものを念頭にいかに準備をすべきか再確認しなければならず、その支援を担うことで各自の認識も新たにできた。加えて、複数の委員の仕事に従事し、講義の円滑な受講やその他の場での良好な環境の維持などに貢献できた。

次に、これまでの積み重ねの上に、研究面では、テーマをさらに深めるために優れた事例や特徴ある事例などを含む幅広い資料の獲得に努めた。特に、事例の比較では、さまざまなレベルでの発問などの意義と効果を吟味し、同種の方法であっても他の方法との組みあわせなどで異なる結果を生む時があることなどを検討できた。以上を踏まえ、これ以降は、引き続き各種資料を広範に得て検討の観点も増やすことで、より有効な方法を吟味し示唆を得たい。

2　その他の事項

3　次年度以降の計画・抱負

これまでは現在まで続く感染症危機の影響を受け、現場の変容に応じて求められるスキルなどの特徴を踏まえ、以前との相違も前提に、臨機応変に受講者を支援できた。特に、初歩レベルの事項の徹底だけでなく、求めに応じて各自の課題である領域にも取り組ませ、円滑な免許取得を後押しできた。これ以降はその土台の上に、適宜なされる制度変更なども踏まえつつ、受講者にとって派遣先の経験がより貴重で有意義になることをめざし、各自のスキルなどの涵養を図る。特に、模擬授業などの限られた場を極力生かし伸ばすべき点と修正すべき点を見極め、個々の準備を支えることで現場で肝心な時に助けとなる力をはぐくみたい。また、研究面では、テーマ上でこれまでに得てきた資料を整備し、その結果も踏まえて意義ある資料のさらなる取得に努め、新たな観点も含めより綿密に吟味をすすめる。特に、発問のあり方、授業の組み立て、扱う資料の特徴

とそれらの相互のかかわりを、新しい事例も含め見ることで、丹念かつ精緻にさらなる検討を積み重ねる予定である。